Sanriku-geopark
第９３号
令和５年１０月発行

さんりくジオだより

三陸ジオパーク推進協議会

東日本大震災津波伝承館と連携協定を締結しました

達増知事と山本会長

7月10日宮古市イーストピアみやこにおいて、東日本大震災津波伝承館と三陸ジオパーク推進協議会は、連携協定を結びました。
三陸の大津波の歴史や津波災害を後世に伝えていくこと、また三陸の豊かな地形・地質遺産を守り、それらを防災・復興教育や地域の持続的発展に活用してくために一層連携協力して事業を推進して参ります。

《ワカメモンスター》

「えっ?! こんなにちっちゃいの？」吹けば飛んでいきそうなほど、顕微鏡で見るほど不思議な、ワカメを住家とするたくさんの生物がいます。それをワカメモンスター(ワカモン)と名付け、ミニ講座とプチアクセサリー作りがありました。

甚石海岸インフォメーションセンターの小松さん　ジオさんぽも実施しています

地元では〈しゃむしゃらりん〉と呼ばれているそうですが、海の生態系もバランスが保たれることが大切という話がとても印象深かったです。

《東北ブロックイベント》

７月２２日（土）に、仙台市のショッピングセンタータピオで東北ブロック９ジオパークによる普及イベントがあり、三陸ジオパークも出展してきました。昨年はセミナーの開催があり欠席でしたので、今回は初参戦。夏休みに入った子供たちに向けて、各ジオパークが様々なメニューを準備し、会場は多くの親子連れでにぎわいました。

すごろくゲームでさんりくジオパークの16市町村をまわりました。

東北ブロックの各ジオパーク事務局が下北ジオパークに集合

６月２８～３０日に、下北ジオパークに行ってきました。
来年のジオパーク全国大会は、下北ジオパークでの開催が決定していて、東北ブロック全体で運営協力をしていきますので、現地の予定会場の下見などを兼ねて事務局同士の交流と、直近の仙台イベントについての協議も行いました。今回は新幹線の七戸十和田駅まで迎えに来ていただきましたが、そこからむつ市まで車で1時間30分ほどかかり、下北半島の広さを感じました。
いつもはオンラインでの打合せでしかお目にかかれない各地のみなさまなので、こういう機会があると同じ立場同士で情報交換も盛り上がり、リクエストで持ち寄ったご当地ドリンクも大好評でした。下北のジオサイトにも案内いただき、現地での「なるほど」をたくさん体験してきました。三陸エリア内でも行けてないところはありますが、東北各地のジオパークにも是非行ってみたいと思います。
企画してくださった下北ジオパークのみなさまには大変お世話になり、ありがとうございました。

下北半島のジオサイトを見学

恐山で解説役をする盛合専門員

東北各地の地酒が揃いました

ジオトレイルスタンプラリーに参加しよう！

みちのく潮風トレイルとは

青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸を結ぶ、全長1000km以上におよぶ「歩くための道」のこと。美しい景観と、そこで紡がれてきた人々の暮らしや文化を体感できます。

三陸ジオパークとは

ジオパークとは、「地球・大地（ジオ）」と「公園（パーク）」を組み合わせた言葉で、「大地の公園」を意味し、地球を学び丸ごと楽しむことができる場所のこと。三陸地域は、地球活動の歴史を実際に見ることができる地域（ジオサイト）に恵まれています。

対象イベント

イベントの詳細・参加申し込みについては、各主催団体にお問い合わせください。

① 気仙沼市 9月3日㊐
令和5年度第3回クリーンオルレ
（一社）気仙沼市観光協会 唐桑支部 ☎0226-32-3029

② 八戸市 9月17日㊐
THE 鮫！夕焼けトレッキング＆BBQ
種差海岸インフォメーションセンター ☎0178-51-8500

③ 陸前高田市 9月23日㊏
みちのりアドベンチャートレイル 陸前高田ルート
㈱みちのりトラベル東北 ☎019-641-8811

④ 久慈市 9月24日㊐
トレイン&トレイル in 久慈
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑤ 宮古市 10月1日㊐
トレイルメンテナンス in 宮古
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑥ 気仙沼市 10月9日㊊
宮城オルレ 気仙沼・唐桑コース5周年オルレ（仮）
（一社）気仙沼市観光協会 唐桑支部 ☎0226-32-3029

⑦ 岩泉町 10月14日㊏
みちのりアドベンチャートレイル 岩泉ルート
㈱みちのりトラベル東北 ☎019-641-8811

⑧ 野田村 10月15日㊐
トレイン&トレイル in 野田
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑨ 岩泉町 10月21日㊏
みちのく潮風トレイル in 岩泉
岩泉町経済観光交流課 ☎0194-22-2111

⑩ 大船渡市 10月中旬
大船渡の食とトレイル
碁石海岸集団施設地区運営協議会 ☎0192-29-2359

⑪ 田野畑村 10月29日㊐
トレイン&トレイル in 田野畑
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑫ 陸上町 11月4日㊏
みちのりアドベンチャートレイル 陸上ルート
㈱みちのりトラベル東北 ☎019-641-8811

⑬ 山田町 11月5日㊐
トレイルメンテナンス in 山田
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑭ 山田町 11月11日㊏
みちのく潮風トレイル in 山田
山田町水産商工課 ☎0193-82-3111

⑮ 大槌町 11月12日㊐
トレイン&トレイル in 大槌
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑯ 岩泉町 11月19日㊐
トレイルメンテナンス in 岩泉
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

⑰ 気仙沼市 11月25日㊏
みちのく潮風トレイル唐桑半島縦断トレッキング（仮）
（一社）気仙沼市観光協会 唐桑支部 ☎0226-32-3029

⑱ 陸前高田市 11月26日㊐
みちのく潮風トレイル in 陸前高田
浄土ヶ浜ビジターセンター ☎0193-65-1690

三陸の各地で開催されるイベントに参加してスタンプを集めると、オリジナルグッズが抽選で当たります！
どのイベントも好評なので、参加しようかなと思ったらお早めにお申し込みください！！

「もーりぃ　の　さんりくジオ話」
三陸ジオパーク専門員の盛合秀がお届けします

滝観洞の入口

5月15日に、住田町の滝観洞に行ってまいりました。
この日の気温は20度を超えていたため、洞内に入ると非常に涼しく感じました（ちなみに洞内の温度計では9℃を示していました）。
洞内を進むと映画「八つ墓村」の撮影地やウミユリの化石が多数確認できる露頭など数々の見所がありました。最奥部には、「天の岩戸の滝」が流れており、滝壺へと落ちていく水の音に大変迫力がありました。

滝観洞周辺には鬼丸層や長岩層と呼ばれる古生代石炭紀の黒色石灰岩が分布していますが（後期ビゼーアン～前期モスコビアン：約3億4000万年～3億1000万年前）、この他にも三陸ジオパークのエリア内には石灰岩層が多く見られ、内間木洞や龍泉洞、安家洞などの鍾乳洞も複数存在します。これらの鍾乳洞は数万年もの長い年月をかけて形成されたものであり、まさにジオを体感できる場所であると思います。

洞内の気温は安定しているので、外気温が低くなるこれからの時期は、暖かく感じるかもしれませんね。入洞の際には、足元と頭上に注意しましょう。

参考文献：川村・川村 (1989), 南部北上帯の石炭系（その1）
相澤 (2009), 南部北上山地古生代石灰岩のカドミウム含量

令和5年度　市町村長ツアーを実施しました　①

昨年度に引き続き、各ブロックごとに三陸ジオパークの見どころを巡る首長ツアーを企画

《北部　7月24日（月）》

【テーマ】　北三陸きらりジオ旅　～実は海の底だった!?地球からの贈り物～

三陸沿岸北部は150mの滝が海に直接流れ落ちる黒崎など南ほど高く、階上周辺は海抜10～30mと変化に富む海成段丘が広がり、北限の海女や南部潜りで獲られるウニ・あわびなど、海産資源の宝庫となっています。

一方内陸部は、海成段丘によって隆起したなだらかな丘陵地帯で、乳製品などの牧畜やヤマブドウを原料としたワイン製造が盛んな他、バラ輝石（マリンローズ）や琥珀なども産出されそれぞれの風土とともにした産業が営まれています。

【行程】　普代駅集合→黒崎展望台→＊長坂ガイド　マリンローズ野田玉川坑道内見学＊城内氏
→小袖海岸海女センター→道の駅〈北三陸〉→　＊藤織ガイド
大野海成段丘＊寺田ガイド　→階上灯台＊高橋ガイド　→蕪島＊吉田ガイド

黒崎にて　北緯４０度のシンボル塔

北の海女の素潜り実演を見学

大野海成段丘の成り立ちを聞く

《南部　7月27日（木）》

【テーマ】　地形と地質が育む自然と景観美

南部ブロックは、地形や地質の変化により生成されたサイトが多く、長い年月をかけて育まれた自然の歴史を感じることができます。

多くの人々を魅了し、地域の観光を支えるのみならず、学習の場所として、また東日本大震災津波などの自然災害の歴史を伝える場所としても機能しています。

今回のツアーでは、そんな南部ブロックの自然の景観美と歴史を体感できる、有意義な一日となりました！

【行程】

滝観洞【住田町】→昼食（メカジキカレー）→大谷・鹿折金山跡（鹿折金山資料館）【気仙沼市】→陸前高田市立博物館【陸前高田市】

陸前高田市立博物館の展示ゾーンの一角
真剣な眼差しで見学する参加者の皆さん

まず、住田町の滝観洞です。洞内は上着が必要なほどひんやりしており、薄暗く狭いので歩くのには一苦労ですが、ガイドの千葉孝文さんの説明を聞きながら、さながら冒険家のごとく進んでいく様は、まさに非日常体験でした。洞内を進んだ先には、日本有数の落差を誇る「天の岩戸の滝」があり、その迫力と美しさに圧巻されました。

次に気仙沼市の鹿折金山跡を訪問しました。この金山ではその昔、重さ2.25kg、金含有量83%という巨大な金塊（モンスターゴールド）が採掘されたことで有名で、資料館にはその金塊のレプリカも展示されていました。首長方は実際に砂金取りを体験し、思い思いに楽しんでおられました。

最後は、陸前高田市立博物館を見学しました。同館は、東日本大震災津波で全壊しましたが、約11年８ヶ月の時を経て、昨年11月に新設し、再スタートを切りました。南部ブロックの重点拠点施設となっており、首長方は同館職員のガイドに熱心に耳を傾けておりました。

滝観洞の最奥では
「天の岩戸の滝」の絶景が待っています。

令和5年度　市町村長ツアーを実施しました　②

《中部　８月３日（木）》

【テーマ】：三陸の「文化」と「自然との共生」を学び、地球と人間のつながりを知ろう！

【行程】：
【田野畑村】北山崎・机浜番屋群：赤坂広太ガイド
【岩泉町】龍泉洞・新洞科学館：岩泉観光ガイド協会
【宮古市】崎山貝塚縄文の森ミュージアム：学芸員
【山田町】大沢漁港日東捕鯨(株)捕鯨基地跡地：伊藤実知子ガイド
鯨と海の科学館：湊敏館長
新・道の駅やまだ「おいすた」視察後解散

北山崎サッパ船アドベンチャーズ

大沢漁港日東捕鯨基地跡地にて

今回は、田野畑村をスタートとし南下しながら、各市町村のサイトについてじっくり学びました。サッパ船アドベンチャーズでは、正直穴（正直者しかくぐれないといわれている海蝕洞（かいしょくどう））を無事くぐり抜け、北山崎の雄大な地形を海から観察することができました。

山田町に捕鯨基地ができるきっかけは、日本海軍の水上偵察機基地の払い下げを受けて、そのまま捕鯨基地へ転用可能だったことも理由の一つとのこと。戦後間もないとはいえ、利用できるものは再利用して事業を興した先人の知恵に感心しました。

《これからが旬！　釜石市甲子地区の名産品「甲子柿」について》

これから旬を迎える甲子柿は、石造りの室に渋柿を入れ一週間、煙で燻して渋を抜くという秘伝の製法でつくられており、昔から秋の味覚として地域の人に親しまれてきました。

種がなく、食感はゼリーのようにとろっとろで、芳醇な甘さが特徴です。食感や風味もさることながら、リコピンやカロテンなど、美肌効果や免疫力の向上につながる栄養素を多く含んでいます。

甲子柿は消費期限が一週間程度と大変短く、遠方に出荷するのは不可能と考えられてきましたが、少しでも長持ちするよう、商品開発が進められてきました。現在では、サイダーやジェラートをはじめ、様々な商品が誕生し、今でも増え続けています。

郷土に伝わる一品が地域のアイデア商品で登場するとついつい食べてみたくなりますね。

編集後記：今号は**2**回分の増ページでお届けしたジオだよりですが、記事の内容がその当時に発行できなかったものが多かったので、思い出しながら編集していました。すでに懐かしい?!　　引き続き次号も頑張ります！
仙台でのイベントは各ジオパークブースで工夫を凝らしたメニューを楽しめますが、**VR**ゴーグル体験を用意しているジオパークも多く、空き時間に私も見せていただきました。
360度の映像を楽しめる体験は、やっぱりすごいですね！機材の仕様もそれぞれに違って、ガイドさんの解説付きで案内してくれるのも良かったです。ご来場のみなさまも今度は是非、現地のジオパークへ！　　～と～

三陸ジオパーク推進協議会
〒027-0072
岩手県宮古市五月町1－20
（宮古地区合同庁舎2階）
TEL:0193-64-1230
FAX:0193-64-1234
info@sanriku-geo.com
https://sanriku-geo.com/
facebookはこちら！